

## 2006年度活動まとめ

### 1、全体的状況について

国の「放課後子どもプラン」発表、市のルーム利用時間の拡大方針提示、県連協研究集会の千葉市開催など、大きな課題が年度途中に次々持ちあがり、その対応に追われた1年でした。こうした中で、定例幹事会や子どもまつりの開催、設置者である市、運営主体の社会福祉協議会への要望書提出、両者との折衝、懇談といった予定していた活動を、何とかこなすことができ、懸案となっていたホームページも立ち上げることができました。加盟各ルームの支援、協力と、スタッフの努力に感謝いたします。

子どもルームの需要（利用者、入所希望者）は確実に増え続けており、同事業の充実がさらに重要になっています。新たなルームが設置される地区がある一方、老朽化、狭隘化が顕著となり、緊急に改修、移転が必要なルームもあります。一学校区複数ルームが必要になる地域は、今後さらに増えてくることが予想されます。

施設さえ整備されればそれでいいというものではありません。ハード面の拡充とともに、ソフト面、保育の質の維持・向上にも十分な配慮が必要です。それには大規模ルームの解消が不可欠で、指導員の専門性確保や資質向上に向けた研修の充実、指導員の待遇改善も重要な課題です。子どもたちにとって楽しく、保護者にとっては安心で、指導員にとって働きがいのある子どもルームを実現するため、私たちはさらに知恵と力を出し合い、取り組みを継続、発展させていかなければなりません。ホームページなども上手に活用し、仲間づくり、活動の輪を広げていきたいと思えます。

### 2、具体的活動について

**定例幹事会** 昨年に引き続き、年間予定で開催日とテーマを示した上で、事前に報告用紙を配布、出席者が用紙を持参することで各ルームの発言を促しました。毎回、出席者が異なるルームが多いことを考慮した手法です。緊急課題の発生で、十分な発言時間を確保できなかった月もありましたが、報告用紙をコピーして配布し、少しでも他ルームの状況が把握できるよう努めました。

**ホームページ開設** 昨年5月に立ち上げ、公開可能なデータを掲載するなど少しずつですが内容の充実を図っています。情報の共有化促進、市連協の知名度アップなどにつながるよう、みんなで育てていきましょう。

**「放課後子どもプラン」** 5月に唐突な感じで国から発表されました。全児童を対象にした「居場所づくり」と、学童保育事業を一体的に推進する という内容から、子どもルームの将来に不安が広がりました。役員は、子ども家庭福祉課のほか、市教委生涯学習課も訪ね、今後の千葉市の対応を探りました。現状は、「地域子ども教室」と「子どもルーム」双方を推進しながら、どのような連携が可能か模索していく、と

いう段階と受け止めました。ただし「一体的推進」という文言には、子どもルーム事業の吸収、廃止という結果につながる危険性をはらんでいることは確かです。今後も、注意深く動向を見つめていきましょう。

**利用時間の拡大** 当初は「前向きに検討」という程度でしたが、秋ごろから次第に現実味を帯び、今年6月からの実施が決まりました。利用時間の拡大は、われわれが長年、要求してきたことであり基本的には歓迎すべき方向です。ただし、市や社協の提案は、打ち合わせ時間の確保、指導員の勤務体制等の点で、問題をはらんでいました。さらに、拡大時間料金の設定には、事前に利用者の意見が全く反映されていないため、2度にわたって緊急要望書を提出し、改善を求めました。改めて、「推進協議会」の必要性を感じました。(6月からは、現状「午後6時まで」の通常利用時間を「7時まで」とし、延長利用料は1人当たり月額1000円。また、夏休みなど学校が休みの平日の開始時間が30分繰り上げられ、午前8時になります。ただし、土曜日は現状のまま。開始時間も午前8時30分からで、「平日との違いが混乱を招くのでは」と私たちは懸念しています)。

**市子ども家庭福祉課と意見交換** 5月31日は新役員あいさつを兼ねて、8月24日には要求書提出に併せて、役員が島田主幹ら担当者と懇談しました。各ルーム代表も参加する対市懇談は10月5日夜、中央コミュニティセンター会議室で開催しました。「放課後子どもプラン」と子どもルーム事業の関係、利用時間拡大、県ガイドラインに対する市の考えなどが主要な議題となりました(要求書などは資料参照)。

**社会福祉協議会と意見交換** 11月17日夜、役員が社協を訪問、初芝課長ら担当職員と意見交換しました。「運営の手引き」の指導員への周知徹底、父母への積極公開などを求めました。ルーム新設時の備品リストが開示されることになりました。

**子どもまつり** 11月5日、千葉ポートパークで開きました。約650人が参加し、ステージ発表や模擬店、ゲームを中心に交流を深めました(詳しくは子どもまつり報告で)。

**未加盟ルーム交流会** 1月21日、市民会館で開きましたが、残念ながら参加者はありませんでした。市内全ルームに開催案内、市連協のリーフレットなど送付し、参加を呼びかけましたが実りませんでした。気軽に参加できる工夫が必要かもしれません。

**県研究集会** 2月18日、県連協と共催という形で、千葉経済大学で開催しました。当日は冷たい雨が強く降る、最悪の天候となりましたが、県内各地から約300人の参加者がありました。このうち約100人が市内からでした。子どもルームに対する高い関心を改めて感じました。午前には、埼玉県の小学校教諭、渡辺恵津子さんが「つながり合いの子育て」と題し記念講演。午後は放課後子どもプラン、ガイドライン、大規模問題など10の分科会を開き、交流と意見交換を進めました。道案内、会場設営など、加盟各ルームのみなさんには早朝から協力していただきました。おかげで、無事、大役を果たすことができました。改めて感謝申し上げます。